

みさと

M i s a t o

— 美郷会理念 —

人と地域にやさしいオアシスを目指します



今回の表紙／防災・消防訓練を実施しました



- シリーズ 地域包括ケアシステム 管理栄養士が関わるサービス
- 知ったく情報 便秘について
- 新潟市在宅医療・介護連携ステーション西蒲より
- 季節性インフルエンザの予防接種について
- みさと祭 中止のお知らせ

季節性インフルエンザの予防接種について

今年度、季節性インフルエンザのワクチンは昨年より大幅に供給数が少なく、また時期も遅れることが見込まれています。

つきましては、例年、予約を行ってありました「外来での予約」が当院ではできない状況です。毎年、当院外来にて接種されていた方には、誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



みさと祭 中止のお知らせ

＼ 令和元年のみさと祭の様子！毎年、たくさんの来場者で賑わいます！／

毎年10月に開催しておりました、当院の病院祭「みさと祭」につきましては、昨年に引き続き、開催中止を決定いたしました。いまだ、国内外や、新潟市においても新型コロナウイルス感染症の収束が見えない現状です。ワクチン接種も進んでおりますが、多くの方が一同に会して式典を行うことは、感染拡大の危険性を鑑みると、中止せざるを得ない状況です。大変残念ではございますが、楽しみにされていた皆様におかれましては、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

来年こそは、盛大に開催できることを願っております。

理事長 江部和人

医療法人 美郷会

西蒲中央病院

- 認知症対応型通所介護「デイサービスセンターみさと」
TEL:0256-88-5521 FAX:0256-88-5531
- 通所リハビリテーション
TEL:0256-88-0024 (直通)
- 居宅介護支援事業所「ケアプランセンターチューリップ」
TEL:0256-88-0180 (直通) FAX:0256-88-0181
- 訪問看護ステーション ● 訪問リハビリテーション
TEL:0256-88-0171 (直通) FAX:0256-88-0172
- 新潟市在宅医療・介護連携ステーション西蒲
TEL:0256-88-0022 (直通) FAX:0256-88-0033
- 西蒲中央病院みさと訪問看護ステーション
TEL:025-211-2116 (直通) FAX:025-211-2126

住宅型有料老人ホーム ころはす西蒲

- 短期入所生活介護事業所「ショートステイころはす西蒲」
- 通所介護事業所「デイサービスセンターころはす西蒲」
- 居宅介護支援事業所「ころはす西蒲」
- 訪問介護事業所「ころはす西蒲」
TEL:0256-88-3113 FAX:0256-88-3115

ころはす横尾

- ショートステイ「ころはす横尾」
TEL:025-211-8325 FAX:025-211-8326

ころはす亀貝

- ショートステイ「ころはす亀貝」
- デイサービスセンター「ころはす亀貝」
TEL:025-260-0261 TEL:025-260-0255
FAX:025-260-0268 FAX:025-260-0256

住宅型有料老人ホーム ころはす小針

- 「ころはすクリニック」
- 通所介護事業所「デイサービスセンターころはす小針」
- 居宅介護支援事業所「ころはす小針」
- 訪問介護事業所「ころはす小針」
TEL:025-234-3800 FAX:025-234-3810

ころはす五十嵐

- ショートステイ「ころはす五十嵐」
TEL:025-201-6363 FAX:025-201-6360

ころはす小新

- ショートステイ「ころはす小新」
- 居宅介護支援事業所「ころはす小新」
TEL:025-234-4661 TEL:025-234-4666
FAX:025-234-4662 (共通)

社会福祉法人 友愛会

グループホーム ゆうあい

- 認知症対応型 共同生活援助事業所
TEL:025-268-6840 FAX:025-268-6841

グループホーム ひまわりの家

- 認知症対応型 共同生活援助事業所
TEL:025-272-2701 FAX:025-272-2710

編集後記

[みさと編集委員会 塩坪]

朝方が涼しくなってきた、気温差にバテ気味になっていきます。当院では2021年8月下旬より、紙のカルテから電子カルテに移行しました。慣れないことばかりで戸惑っている職員も多いですが、今後も皆様のお役に立てるよう、奮闘して参ります。

NISHIKAN CHUO HOSPITAL 医療法人 美郷会
西蒲中央病院

発行責任者：院長 松田 博人
〒959-0423 新潟県新潟市西蒲区旗屋731番地
TEL / 0256-88-5521(代)
FAX / 0256-88-5531

<http://www.misatokai.or.jp/>

西蒲中央病院

検索



NISHIKAN CHUO HOSPITAL 医療法人 美郷会
西蒲中央病院

「地域包括ケアシステム」の解説や、当法人の関わりを紹介する、不定期の連載です。
4回目となる今回は、【栄養】に関するお話です。

地域包括ケアシステムは、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活をしていくための制度です。ここでは、当法人の【管理栄養士】が関わるサービス等について紹介いたします。

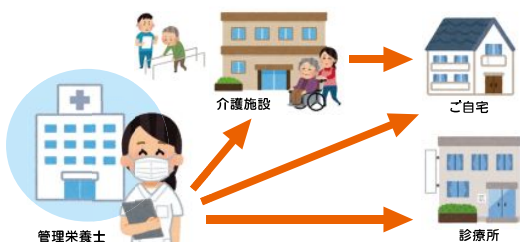


当院の管理栄養士が関わる部分

【地域包括システム全体像】



通院が難しい方に向けて、ご自宅に行って、栄養指導や食事相談を行います。また、当院に通院されている方でなくても、かかりつけの診療所様と連携をとり、管理栄養士が出向くことも可能となるよう、取り組んでいます。



「栄養がちゃんと摂れていないような気がする」「最近、体重が急に減ってきた」など、栄養や食事に関して不安なことがあれば、ぜひご相談ください。

栄養科 上原裕美子



Q. どんなことをしているの？

- A.
- 食事摂取量や体重・栄養状態のチェック
 - 調理指導・買い物指導
 - ヘルパーへの指導（買い物内容や調理内容について連携）
 - 状態に合わせた食事内容、形態（とろみ、ミキサー食）などの指導
 - 栄養補助食品や介護食器等の紹介
 - 献立の作成、食事に対するアドバイス
 - その他の療養生活に関わる様々な相談

①便秘とは？

全国で1000万人以上の方が悩む便秘。何らかの理由で便が長いあいだ腸の中にとどまり、どんどん水分が吸収されて便が硬くなって、その結果として便を出しにくくなった状態です。便秘は「便を十分量かつ快適に排出できない状態」とされています。実はどのくらい出なかったら便秘という明確な基準はありませんが、目安としては週3回未満の場合は便秘が疑われます。便秘かどうかは、スッキリ感が重要といえますね。

②便秘は大変

便秘になると「お腹が痛い」、「お腹が張って苦しい」、「便をしっかり出きったという感覚がない」という場合があります。その他に食欲低下、吐き気、めまい、肌荒れ、肩こりなどを引き起こすこともあります。不快なまま生活していくことは、大変ですね。

③生活習慣のチェックが大事

便秘の原因は生活習慣によるものが一般的です。そのため、まずは規則正しい生活をする、バランスのよい食事を取る、適度な運動するなど、生活習慣の改善に取り組むようにしましょう。ストレスが便秘につながることもあるため、ストレス解消への取り組みも大切です。生活習慣を改善しても便秘が続くようでしたら、かかりつけの病院などに相談してみましょう。便秘の薬物治療の基本は、「便を軟らかくする薬を毎日適量飲む」+「大腸を動かす薬や浣腸を組み合わせる」となります。

④便秘になったときにはどんな薬があるの？

大腸を動かす薬

・センノシド(プルゼニド) ・ピコスルファートナトリウム(ラキソベロン)

便を軟らかくする薬

・酸化マグネシウム ・ルビプロストン(アミティーザ) ・リナクロチド(リンゼス) ・ラクツロース(ピアール)

上の両方を併せ持つ薬

・エロピキシバット(グーフイス)

漢方薬

・大黄甘草湯、桃核承気湯など

グリセリン浣腸

直腸を滑りやすくし、便を軟らかくします。



[出典] NHK きょうの健康、健康製薬 便秘(健康生活)、治療薬ハンドブック2018 など

薬剤部 若林聡一



新潟市在宅医療・介護連携ステーション西蒲より

令和3年9月15日、第38回西蒲区在宅医療ネットワークの集い定例会と共催で、ご当地連携研修会を開催致しました。今回は、「地域における栄養管理支援」をテーマに、(株)ツクイ 山田様からのご講演と、当院栄養科・上原、西脇より在宅栄養支援の実践についてお話させていただきました。高齢者の栄養管理の重要性、管理栄養士の地域実践や多職種連携でのアプローチ方法などを学び、同時に、対象者の生活スタイルや思いに寄り添った栄養支援が、自分らしい人生を支え続けることに繋がると実感しました。今回の研修会をきっかけに、病院から在宅まで地域の栄養支援がよりよいものになっていくよう、今後も取り組んでまいります。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



ZOOMを用いたオンラインの研修会



新潟市在宅医療・介護連携ステーション西蒲 (地域連携相談室内)

TEL/0256-88-0022 FAX/0256-88-0033 担当/梅川、加藤